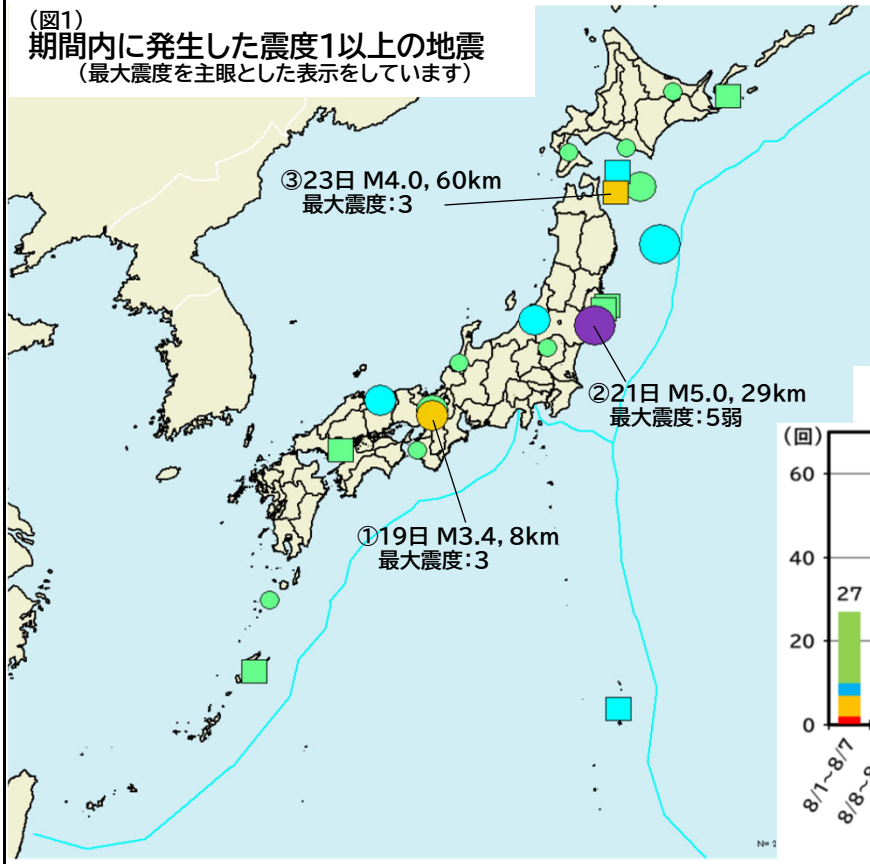


この期間の最大震度は5弱(福島県沖の地震)

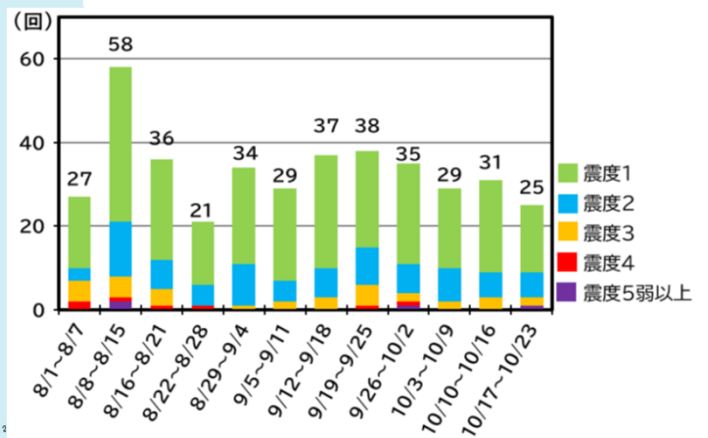
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

(図1) 期間内に発生した震度1以上の地震 (最大震度を主眼とした表示をしています)



最大震度	マグニチュード	深さ(km)
震度5弱以上	7.0	0
震度4	5.0	30
震度3	3.0	90
震度2		
震度1		

(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が25回発生。最大震度は5弱(福島県沖の地震)。
- ①19日11時02分に京都府南部で発生した地震(M3.4、深さ8kmにより、京都府亀岡市で震度3を観測したほか、京都府及び大阪府で震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生。この地震とほぼ同じ場所で、11時00分にM3.2の地震(最大震度2)、19日15時34分にM2.3の地震(最大震度1)が発生し一時的な活動が見られたが、これ以降は震度1以上を観測する地震は発生していない。この付近では、今年3月から5月にかけて最大震度4を観測するなど活発な活動が見られたが、今回の地震は南東に十数km離れた所で発生。
- ②21日15時19分に福島県沖で発生した地震(M5.0、深さ29km)により、福島県楡葉町で震度5弱を観測したほか、岩手県から関東地方にかけて、および新潟県で震度4~1を観測。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した正断層型(トピックス参照)。
- ③23日22時01分に青森県東方沖で発生した地震(M4.0、深さ60km:速報値)により、青森県八戸市で震度3を観測したほか、青森県と岩手県で震度2~1を観測。

トピックス

- 福島県沖の地震活動 ■
- ・21日に福島県沖で発生した地震(M5.0、深さ29km、最大震度5弱)周辺の地震活動は、元々地震活動が活発であり、東日本大震災以降さらに活発化している海域。
- ・本年3月16日に、これよりやや北でM7.4、昨年2月13日にM7.3、共に最大震度6強の地震が発生(図3)し、大きな被害が発生したことは記憶に新しい所。これら2つは共に太平洋プレート内部で発生(図4)した逆断層型の地震であり、元々、地震活動が活発な所で発生。
- ・一方、この領域では、今回の地震のような陸のプレートの地殻内で発生する地震(図4の橙破線内)は、東日本大震災発生以前にはM4.0以上の地震は発生していなかったが、東日本大震災以降、多く発生するようになった特異な所。
- ・前述のとおり、この周辺の地震活動は元々活発であるので、今回のような地震は今後も発生することが十分想定されるので、倒れやすい家具の耐震固定など、個人で出来る備えの点検を今一度行いたいところ。

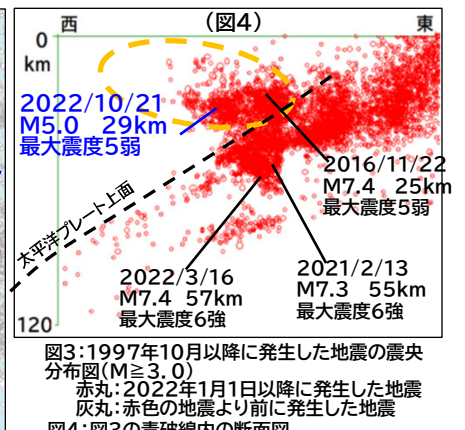
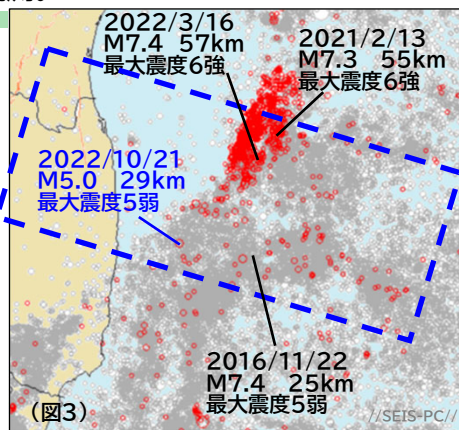


図3:1997年10月以降に発生した地震の震央分布図(M≧3.0)
赤丸:2022年1月1日以降に発生した地震
灰丸:赤色の地震より前に発生した地震
図4:図3の青破線内の断面図